

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9355 URL http://www.rinko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南波 秀憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,031	△3.0	533	△25.2	569	△22.6	374	△29.3
2019年3月期第3四半期	13,438	10.0	712	50.4	736	53.9	530	74.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 437百万円 (864.0%) 2019年3月期第3四半期 45百万円 (△92.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	139.00	—
2019年3月期第3四半期	196.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	39,184	15,366	39.2	5,696.57
2019年3月期	37,691	15,010	39.8	5,564.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,366百万円 2019年3月期 15,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—		
2020年3月期 (予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	△3.0	600	△23.8	620	△21.9	430	△24.2	159.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	2,700,000株	2019年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,418株	2019年3月期	2,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	2,697,589株	2019年3月期3Q	2,697,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、海外経済の減速等を背景に輸出を中心に弱さがみられるものの、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中貿易交渉の長期化や中東情勢の動向、新型コロナウイルスの影響など景気の下振れリスクもあり、先行きは不透明な状況であると認識しております。

このような状況の下、当社企業グループの主要な事業拠点であります新潟港では、貨物取扱数量は前年同四半期比で増加いたしました。一方、当社企業グループにおきましては、主力である運輸部門の貨物取扱数量は前年同四半期比で微増となりましたが、機械販売部門の売上減少などにより、連結売上高は前年同四半期比で減少いたしました。また、経費面では新規倉庫（2019年9月完成）を稼働するために不可欠なコストや人手不足を補う経費の増加が影響いたしました。

この結果、当第3四半期の当社企業グループの売上高は130億3千1百万円（前年同四半期比3.0%の減収）、営業利益は5億3千3百万円（前年同四半期比25.2%の減益）、経常利益は5億6千9百万円（前年同四半期比22.6%の減益）となり、親会社株主に帰属する四半期利益は3億7千4百万円（前年同四半期比29.3%の減益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第3四半期の貨物取扱数量は473万6千トンとなり、前年同四半期比3.2%の微増、売上高もほぼ前年同四半期並みとなりました。経費面では新規倉庫の稼働前に必要なコスト負担や減価償却費、人手不足を補うため外部委託費の増加が影響し、差益を押し下げることになりました。この結果、同部門の売上高は78億7千6百万円（前年同四半期比0.6%の減収）、セグメント利益は8千4百万円（前年同四半期比65.3%の減益）となりました。

(不動産部門)

同部門の業況に大きな変動はありませんが、賃貸物件の修繕費が増加した結果、売上高は2億4千万円（前年同四半期比0.6%の減収）、セグメント利益は1億5千万円（前年同四半期比1.8%の減益）となりました。

(機械販売部門)

建設機械・自動車等の整備事業につきましては、前年同四半期並みでしたが、建設機械の大型物件の販売が減少した結果、同部門の売上は9億4千5百万円（前年同四半期比24.4%の減収）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期は1百万円の利益）となりました。

(ホテル事業部門)

上期に発生した山形県沖地震や大型台風の影響は一時的に受けたものの、インバウンドや国内の宿泊客の取込みは概ね順調に進み、同部門の売上高は24億3千5百万円（前年同四半期比0.8%の減収）、セグメント利益は2億5千8百万円（前年同四半期比2.3%の増益）となりました。

(商品販売部門)

建設関連資材を中心に売上は堅調に推移したものの、コスト面において一部仕入れ価格の上昇等から差益を押し下げ、同部門の売上高は14億4千1百万円（前年同四半期比0.1%の増収）、セグメント利益は3千2百万円（前年同四半期比11.4%の減益）となりました。

(その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、2億8百万円（前年同四半期比6.4%の減収）、セグメント利益は1千6百万円（前年同四半期比28.4%の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて14億9千3百万円増加し、391億8千4百万円となりました。この主な要因は、昨年度より建設中でありました新倉庫の稼働に伴う有形固定資産の増加11億1千7百万円、投資有価証券の時価評価に伴う増加1億9百万円などです。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて11億3千6百万円増加し、238億1千7百万円となりました。この主な要因は、新倉庫建設に伴う借入金の増加等により、リース債務を除く有利子負債が21億5千6百万円増加した一方、営業外電子記録債務が9億9千6百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて3億5千6百万円増加し、153億6千6百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加3億9百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月8日の「2020年3月期第2四半期連結業績予想数値と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,994	823,249
受取手形及び営業未収入金	3,191,812	3,172,408
電子記録債権	235,005	399,190
たな卸資産	130,488	123,749
未収還付法人税等	261	18,013
その他	103,844	269,562
貸倒引当金	△1,174	△1,264
流動資産合計	4,615,232	4,804,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,155,365	24,096,873
減価償却累計額	△15,933,521	△15,992,300
建物及び構築物(純額)	6,221,844	8,104,573
機械装置及び運搬具	2,368,317	2,423,258
減価償却累計額	△2,011,756	△2,053,467
機械装置及び運搬具(純額)	356,561	369,791
土地	22,033,875	22,010,129
リース資産	737,816	693,941
減価償却累計額	△341,242	△315,403
リース資産(純額)	396,573	378,538
建設仮勘定	783,082	45,364
その他	1,242,741	1,267,944
減価償却累計額	△1,069,719	△1,093,650
その他(純額)	173,022	174,293
有形固定資産合計	29,964,959	31,082,690
無形固定資産		
リース資産	36,616	160,961
その他	72,158	46,986
無形固定資産合計	108,774	207,947
投資その他の資産		
投資有価証券	2,650,083	2,759,477
繰延税金資産	120,051	99,978
その他	426,244	423,595
貸倒引当金	△194,119	△194,156
投資その他の資産合計	3,002,260	3,088,894
固定資産合計	33,075,994	34,379,532
資産合計	37,691,227	39,184,442

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,930,371	1,780,860
電子記録債務	161,687	279,498
短期借入金	2,300,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,809,968	2,620,312
1年内償還予定の社債	50,000	—
リース債務	147,103	160,071
未払法人税等	153,640	28,681
賞与引当金	302,866	150,344
営業外電子記録債務	1,022,425	25,442
その他	892,367	920,992
流動負債合計	9,770,430	8,366,203
固定負債		
長期借入金	5,234,948	7,531,600
リース債務	312,946	394,893
繰延税金負債	860,012	997,191
再評価に係る繰延税金負債	4,888,414	4,881,541
退職給付に係る負債	1,272,619	1,309,131
資産除去債務	168,567	170,261
その他	173,151	166,667
固定負債合計	12,910,660	15,451,286
負債合計	22,681,091	23,817,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,728,589	3,038,326
自己株式	△7,014	△7,062
株主資本合計	5,480,816	5,790,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450,271	479,672
土地再評価差額金	9,435,683	9,419,991
退職給付に係る調整累計額	△356,635	△323,216
その他の包括利益累計額合計	9,529,319	9,576,446
純資産合計	15,010,136	15,366,952
負債純資産合計	37,691,227	39,184,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高		
運輸作業収入	7,169,610	7,159,665
港湾営業収入	135,179	125,650
不動産売上高	223,332	221,804
機械営業収入	1,218,054	891,289
ホテル営業収入	2,448,650	2,429,002
商品売上高	1,409,113	1,412,941
その他の事業収入	834,729	791,608
売上高合計	13,438,669	13,031,960
売上原価		
運輸作業費	6,523,866	6,661,846
港湾営業費	91,165	93,922
不動産売上原価	80,600	75,501
機械営業費	1,154,786	841,857
ホテル営業費	1,928,415	1,911,844
商品売上原価	1,361,920	1,369,545
その他の事業費用	548,557	516,421
売上原価合計	11,689,312	11,470,939
売上総利益	1,749,357	1,561,021
販売費及び一般管理費	1,036,726	1,027,868
営業利益	712,631	533,152
営業外収益		
受取利息	53	4,035
受取配当金	71,878	84,465
雑収入	17,537	12,025
営業外収益合計	89,468	100,526
営業外費用		
支払利息	64,065	63,379
雑支出	1,621	670
営業外費用合計	65,686	64,050
経常利益	736,413	569,628
特別利益		
固定資産売却益	753	2,651
投資有価証券売却益	—	1,392
特別利益合計	753	4,043
特別損失		
固定資産処分損	13,289	32,416
投資有価証券評価損	450	—
減損損失	10,481	—
特別損失合計	24,220	32,416
税金等調整前四半期純利益	712,946	541,256
法人税、住民税及び事業税	114,298	88,926
法人税等調整額	68,244	77,356
法人税等合計	182,542	166,283
四半期純利益	530,403	374,972
親会社株主に帰属する四半期純利益	530,403	374,972

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	530,403	374,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△509,529	29,400
退職給付に係る調整額	24,540	33,418
その他の包括利益合計	△484,988	62,819
四半期包括利益	45,415	437,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,415	437,792

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,917,238	223,332	1,218,054	2,448,650	1,409,113	13,216,388	222,281	13,438,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,922	18,498	31,590	5,722	30,772	92,506	20	92,526
計	7,923,160	241,830	1,249,644	2,454,373	1,439,886	13,308,894	222,301	13,531,196
セグメント利益	243,353	153,507	1,981	252,627	36,463	687,933	22,647	710,581

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	687,933
「その他」の区分の利益	22,647
セグメント間取引消去	1,696
その他の調整額	354
四半期連結損益計算書の営業利益	712,631

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,868,910	221,804	891,289	2,429,002	1,412,941	12,823,948	208,012	13,031,960
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,302	18,498	53,928	6,876	28,468	115,074	—	115,074
計	7,876,213	240,302	945,217	2,435,879	1,441,409	12,939,022	208,012	13,147,035
セグメント利益又は損失(△)	84,543	150,672	△9,423	258,536	32,316	516,645	16,205	532,850

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	516,645
「その他」の区分の利益	16,205
セグメント間取引消去	100
その他の調整額	202
四半期連結損益計算書の営業利益	533,152

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。